

医療行動科学 4

年次	学期	学則科目責任者
2年次	後学期	伊藤 孝訓 (歯科総合診療学)

学修目標 (GIO) と単位数	<p>単位数：1単位</p> <p>医療は単に疾患だけを診るのではなく、生物・心理・社会的存在、すなわち、ひとりの人間としての患者を理解し、治療にあたる全人的医療の必要性が今日求められている。慢性疾患や生活習慣病の治療と予防、心身症、障害者、訪問診療など心理学的知識を必要とする健康問題はますます増加の一途をたどっているのが現状である。</p> <p>心理学はギリシャの哲学にさかのぼる伝統的な学問であるが、近年では実証科学として心に関する法則を得ようとしている。「心の科学」あるいは「行動の科学」と呼ばれており、人間の心や行動、対人関係などについて明らかにしようとする学問である。例えば、人間の知覚や認知、記憶や思考、感情や情動などの心的活動は言語的表現、表情やしぐさにあられ、生理反応として生じる。そのために心理学は行動科学とも称される。</p> <p>「ヒトの行動と心理」、すなわち「医療心理学」は、行動、価値観や態度といった情意領域に関して、将来の歯科医療を施行する医療人としての行動基盤とした「心理学的な見方」を習得することに目標をおいている。</p>
担当教員	伊藤 孝訓、多田 充裕、青木 伸一郎、大沢 聖子、※蝦名 直美
教科書	講義内容に関連した資料を配布する
参考図書	「グラフィック認知心理学」 森 敏昭、井上 毅、松井孝雄 サイエンス社 「グラフィック社会心理学 (第2版)」 池上知子、遠藤由美 サイエンス社 その他、随時紹介する。
実習器材	なし
評価方法 (EV)	講義：授業時間内に行う平常試験 (60%)、製作物・体験学習レポート (30%)、受講態度 (10%) をもって総合評価 (最終評価) とする。 平常試験の結果に応じて、補講または再試験等の処置を講じることがある。 受講態度は出席することが前提として与えられ、講義・演習参加への積極性を評価対象とする。 授業時間の1/5以上を欠席した場合、成績評価は0～60点とする。
学生へのメッセージ オフィスアワー	より良い患者-医療者関係を構築するには、人の行動の背景心理である医療行動科学を学ぶ必要があります。その基盤となるのが心理学です。少し深く基本からそのメカニズムについて考えてみましょう。専門家の講義が含まれますので積極的に学んで下さい。 E-mail (shindan.md.ml @ nihon-u.ac.jp) による質問を受け付ける。

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/09/25 (月) 2時限 10:40～12:10	ガイダンス	<p>【授業の一般目標】 全人的な歯科医療を実践するために心理学の役割を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 「医療心理学」について説明できる。 2. 人の行動と心理について説明できる。 3. 歯科医学における心理学の役割を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：医療心理について概説できる。、シラバスの内容の確認 準備学修時間：15分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無し、スライド、講義内容プリントなどの配布資料</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 ア 患者・障害者のもつ心理・社会的問題 e 患者・障害者の心理と態度</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 8 医療面接 ア 意義, 目的 b 患者歯科医師関係の確立 10 診察の基本 ケ 心理・社会的側面についての配慮 a 患者の心理・社会的側面・性格の把握 17 一般教養的事項 イ 医学・医療に関する人文、社会科学、自然科学、芸術などに関連する一般教養的知識や考え方</p> <p>【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-3 歯科医師の責務 *③患者の価値観が多様であることを認識し、柔軟に対応できる。 A-4 インフォームドコンセント ④説明を受ける患者の心理状態や理解度に配慮できる。</p>	伊藤 孝訓

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/09/25 (月) 2時限 10:40～12:10	ガイダンス	E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-1) 基本的診療技能 *⑩診療室における患者の心理と行動を理解し配慮できる。	伊藤 孝訓
2017/10/02 (月) 2時限 10:40～12:10	認知心理	<p>【授業の一般目標】 全人的な歯科医療を実践するために認知心理を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 知覚、認知について説明できる。 2. 思考、判断について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：心理学一般 (知覚、認知、思考、判断) 準備学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有り、ミニッツペーパー、スライド、講義内容プリントなどの配布資料</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 17 一般教養的事項 イ 医学・医療に関する人文、社会科学、自然科学、芸術などに関連する一般教養的知識や考え方</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 ア 患者・障害者のもつ心理・社会的問題 e 患者・障害者の心理と態度 3 予防と健康管理・増進 ア 健康増進と疾病予防 f 行動レベル、行動変容 10 診察の基本 ケ 心理・社会的側面についての配慮 a 患者の心理・社会的側面・性格の把握</p> <p>【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-3 歯科医師の責務 *⑩患者の価値観が多様であることを認識し、柔軟に対応できる。 A-4 インフォームドコンセント ④説明を受ける患者の心理状態や理解度に配慮できる。 E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-1) 基本的診療技能 *⑩診療室における患者の心理と行動を理解し配慮できる。</p>	蝦名 直美
2017/10/16 (月) 2時限 10:40～12:10	学習・認知心理	<p>【授業の一般目標】 全人的な歯科医療を実践するために学習・認知心理を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 記憶について説明できる。 2. 学習の動機付けについて概説できる。 3. 学習、行動変容について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：心理学一般 (記憶、学習の動機付け、行動変容) 準備学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有り、ミニッツペーパー、スライド、講義内容プリントなどの配布資料</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 17 一般教養的事項 イ 医学・医療に関する人文、社会科学、自然科学、芸術などに関連する一般教養的知識や考え方</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 ア 患者・障害者のもつ心理・社会的問題 e 患者・障害者の心理と態度 3 予防と健康管理・増進 ア 健康増進と疾病予防 f 行動レベル、行動変容 10 診察の基本 ケ 心理・社会的側面についての配慮 a 患者の心理・社会的側面・性格の把握</p> <p>【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-3 歯科医師の責務</p>	蝦名 直美

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/10/16 (月) 2時限 10:40～12:10	学習・認知心理	<p>*③患者の価値観が多様であることを認識し、柔軟に対応できる。 A-4 インフォームドコンセント ④説明を受ける患者の心理状態や理解度に配慮できる。 E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-1) 基本的診療技能 *⑩診療室における患者の心理と行動を理解し配慮できる。</p>	蝦名 直美
2017/10/23 (月) 2時限 10:40～12:10	社会心理	<p>【授業の一般目標】 全人的な歯科医療を実践するために社会心理を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1.感情、情動について説明できる。 2.欲求、動機付けについて説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：心理学一般 (感情、情動、欲求、動機付け) 準備学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有り、ミニッツペーパー、スライド、講義内容プリントなどの配布資料</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 17 一般教養的事項 イ 医学・医療に関する人文、社会科学、自然科学、芸術などに関連する一般教養的知識や考え方</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 ア 患者・障害者のもつ心理・社会的問題 e 患者・障害者の心理と態度 3 予防と健康管理・増進 ア 健康増進と疾病予防 f 行動レベル、行動変容 8 医療面接 ア 意義、目的 c 患者の指導、動機付け、治療への参加 イ 面接のマナー f 感情面への対応</p> <p>【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-3 歯科医師の責務 *②個人的、社会的背景等が異なる患者に、わけへだてなく対応できる。 *③患者の価値観が多様であることを認識し、柔軟に対応できる。</p>	蝦名 直美
2017/10/30 (月) 2時限 10:40～12:10	災害心理	<p>【授業の一般目標】 全人的な歯科医療を実践するために災害心理学を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1.災害時の心理と行動について説明できる。 2.喪失に伴う悲嘆反応について説明できる。 3.災害による心理的ダメージのケアについて説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：災害時の心理・行動、喪失に伴う悲嘆反応、災害による心理ダメージ 準備学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有り、ミニッツペーパー、スライド、講義内容プリントなどの配布資料</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 17 一般教養的事項 イ 医学・医療に関する人文、社会科学、自然科学、芸術などに関連する一般教養的知識や考え方</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 ア 患者・障害者のもつ心理・社会的問題 b QOL <生活の質、quality of life> e 患者・障害者の心理と態度 8 医療面接 イ 面接のマナー f 感情面への対応 10 診察の基本 ケ 心理・社会的側面についての配慮 a 患者の心理・社会的側面・性格の把握</p> <p>【コアカリキュラム】</p>	蝦名 直美

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/10/30 (月) 2時限 10:40～12:10	災害心理	A 基本事項 A-3 歯科医師の責務 *②個人的、社会的背景等が異なる患者に、わけへだてなく対応できる。 *③患者の価値観が多様であることを認識し、柔軟に対応できる。 B 社会と歯学 B-2 健康と社会、環境 B-2-2) 保健・医療・福祉制度 *①災害時の歯科医療の必要性について説明できる。	蝦名 直美
2017/11/06 (月) 2時限 10:40～12:10	環境心理と組織心理	【授業の一般目標】 全人的な歯科医療を実践するために環境心理学と組織心理学を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 環境が人間の心理や行動に与える影響について説明できる。 2. 病院施設等に関する心理学的アプローチについて説明できる。 3. 組織における課題遂行と意思決定について説明できる。 4. リーダーシップについて説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：環境が心理・行動に与える影響、病院施設等の心理的アプローチ、組織における課題遂行・意思決定、リーダーシップ 準備学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有り、ミニッツペーパー、スライド、講義内容プリントなどの配布資料 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 102教室、第2実習室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 17 一般教養的事項 イ 医学・医療に関する人文、社会科学、自然科学、芸術などに関連する一般教養的知識や考え方 【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 8 医療面接 イ 面接のマナー f 感情面への対応 16 チーム歯科医療 ウ チームワーク形成 a リーダーシップ ア 医療機関でのチームワーク c 多職種連携 歯科医学総論 総論1 保健医療論 1 健康・疾病・障害の概念 ウ 社会環境の変化 【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-2 健康と社会、環境 B-2-2) 保健・医療・福祉制度 *⑨地域における保健・医療・福祉・介護の分野間の連携および他職種間の連携の必要性について説明できる。 B-2-4) 環境と健康 *①環境による健康への影響を説明できる。	蝦名 直美
2017/11/13 (月) 2時限 10:40～12:10	パーソナリティ	【授業の一般目標】 全人的な歯科医療を実践するためにパーソナリティを修得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 性格、パーソナリティについて説明できる。 2. コミュニケーションスタイルについて説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：性格、パーソナリティ、コミュニケーションスタイル 準備学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無し、スライド、講義内容などの配布資料 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 102教室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 17 一般教養的事項 イ 医学・医療に関する人文、社会科学、自然科学、芸術などに関連する一般教養的知識や考え方 【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 ア 患者・障害者のもつ心理・社会的問題 e 患者・障害者の心理と態度 3 予防と健康管理・増進 ア 健康増進と疾病予防 f 行動レベル、行動変容	大沢 聖子 伊藤 孝訓

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/11/13 (月) 2時限 10:40～12:10	パーソナリティ	<p>1 0 診察の基本 ケ 心理・社会的側面についての配慮 a 患者の心理・社会的側面・性格の把握</p> <p>【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-3 歯科医師の責務 *③患者の価値観が多様であることを認識し、柔軟に対応できる。 A-4 インフォームドコンセント ④説明を受ける患者の心理状態や理解度に配慮できる。 E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-1) 基本的診療技能 *③診療室における患者の心理と行動を理解し配慮できる。</p>	大沢 聖子 伊藤 孝訓
2017/11/20 (月) 2時限 10:40～12:10	平常試験1 振替日: 11月22日(水) 11:10～12:00 11:10～12:00	<p>【授業の一般目標】</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>【学修方略 (L S)】 その他</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 1 0 2 教室</p>	伊藤 孝訓 青木 伸一郎
2017/11/27 (月) 2時限 10:40～12:10	ストレスと健康	<p>【授業の一般目標】 全人的な歯科医療を実践するためにストレスと健康を修得する。</p> <p>【行動目標 (S B O s)】 1. 全人的医療モデルと患者の理解について説明できる。 2. ストレスが招く心の病について説明できる。 3. 患者の不安、ストレスと心理について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目: 全人的医療モデル、ストレスと心理 準備学修時間: 30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無し、スライド、講義内容プリントなどの配布資料</p> <p>【学修方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 1 0 2 教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 7 一般教養的事項 イ 医学・医療に関する人文、社会科学、自然科学、芸術などに関連する一般教養的知識や考え方</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 1 0 診察の基本 ケ 心理・社会的側面についての配慮 a 患者の心理・社会的側面・性格の把握 歯科医学総論 総論Ⅶ 主要症候 1 全身的症候 キ 心理、精神機能 総論Ⅹ 治療 1 0 その他の治療法 ケ 心身医学療法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-5) 心因性疾患 *①心身相関を説明できる。 *②歯科心身症を説明できる。</p>	多田 充裕
2017/12/04 (月) 2時限 10:40～12:10	心理検査	<p>【授業の一般目標】 全人的な歯科医療を実践するために心理検査を修得する。</p> <p>【行動目標 (S B O s)】 1. ストレスについて説明できる。 2. Y G心理検査、自己分析の演習ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目: 心理検査の種類、手技 準備学修時間: 30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無し、スライド、講義内容プリントなどの配布資料</p> <p>【学修方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p>	青木 伸一郎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/12/04 (月) 2時限 10:40～12:10	心理検査	102教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 11 検査の基本 ア 意義、目標 c 医療情報の収集 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 10 診察の基本 ケ 心理・社会的側面についての配慮 a 患者の心理・社会的側面・性格の把握 【コアカリキュラム】 F 臨床実習 F-1 医療面接 ④患者の身体的・精神的・社会的苦痛に配慮し、問題点を抽出、整理できる。 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-5) 心因性疾患 *④心理テストを説明できる。	青木 伸一郎
2017/12/11 (月) 2時限 10:40～12:10	判断とエラー	【授業の一般目標】 全人的な歯科医療を実践するために判断とエラーの思考を修得する。 【行動目標（SBOs）】 1. 注意について概説できる。 2. 判断にまつわるエラーの種類について説明できる。 3. 判断の心理学的背景について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：注意、判断エラー、判断の心理的背景 準備学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無し、スライド、講義内容プリントなどの配布資料 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 102教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 17 一般教養的事項 イ 医学・医療に関する人文、社会科学、自然科学、芸術などに関連する一般教養的知識や考え方 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 ア 患者・障害者のもつ心理・社会的問題 e 患者・障害者の心理と態度 3 予防と健康管理・増進 ア 健康増進と疾病予防 f 行動レベル、行動変容 10 診察の基本 ケ 心理・社会的側面についての配慮 a 患者の心理・社会的側面・性格の把握 【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-4 インフォームドコンセント ④説明を受ける患者の心理状態や理解度に配慮できる。 A-7 対人関係能力 A-7-2) 医療面接 ④患者の不安、不満や表情・行動の変化に適切に対応できる。 E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-1) 基本的診療技能 *⑩診療室における患者の心理と行動を理解し配慮できる。	青木 伸一郎
2017/12/18 (月) 2時限 10:40～12:10	対人行動	【授業の一般目標】 全人的な歯科医療を実践するために対人行動を修得する。 【行動目標（SBOs）】 1. 対人行動について説明できる。 2. メタ認知について説明できる。 3. コミュニケーションに関わる心理を説明できる。 4. 言語とコミュニケーションについて説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：対人行動、メタ認知、言語コミュニケーション 準備学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無し、スライド、講義内容プリントなどの配布資料 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 102教室	伊藤 孝訓

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/12/18 (月) 2時限 10:40～12:10	対人行動	<p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 8 医療面接 ア 意義, 目的 b 患者歯科医師関係の確立</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 8 医療面接 イ 面接のマナー c 会話のマナー、言葉遣い d コミュニケーションの進め方 (質問法、傾聴の仕方、非言語的コミュニケーション) e プライバシーの保護</p> <p>【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-7 対人関係能力 A-7-1) コミュニケーション *①コミュニケーションの目的と技法 (言語的と非言語的) を説明できる。【患者本人、保護者および介護者への説明を含む。】 *②信頼関係を確立するためのコミュニケーションの条件を説明できる。 *③コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。</p>	伊藤 孝訓
2018/01/15 (月) 2時限 10:40～12:10	心理とケア	<p>【授業の一般目標】 全人的な歯科医療を実践するために高齢者の心理とケアを修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 高齢者の心理について説明できる。 2. ケアの心理について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目: 高齢者の心理、高齢者のケア 準備学修時間: 30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無し、スライド、講義内容プリントなどの配布資料</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102 教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論II 健康管理・増進と予防 6 高齢者保健 イ 高齢者の特性</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論II 健康管理・増進と予防 6 高齢者保健 ア 現状、動向 ウ QOL < quality of life >、日常生活動作 < ADL > オ 地域支援事業</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-3) 高齢者の歯科治療 *①老化の身体的、精神的および心理的特徴を説明できる。 *②老化に伴う口腔諸組織の構造と機能の変化を説明できる。 *④高齢者における口腔ケア処置について説明できる。 *⑩摂食・嚥下リハビリテーションを説明できる。</p>	蝦名 直美
2018/01/22 (月) 2時限 10:40～12:10	対人コミュニケーション	<p>【授業の一般目標】 全人的な歯科医療を実践するために対人コミュニケーションを理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 言語的コミュニケーションについて列挙できる。 2. 非言語コミュニケーションについて列挙できる。 3. コミュニケーションエラーについて説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目: 対人コミュニケーション、コミュニケーションエラー 準備学修時間: 30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無し、スライド、講義内容プリントなどの配布資料</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102 教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 8 医療面接 イ 面接のマナー d コミュニケーションの進め方 (質問法、傾聴の仕方、非言語的コミュニケーション)</p>	青木 伸一郎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2018/01/22 (月) 2時限 10:40~12:10	対人コミュニケーション	<p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 8 医療面接 イ 面接のマナー f 感情面への対応</p> <p>【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-4 インフォームドコンセント ④説明を受ける患者の心理状態や理解度に配慮できる。 ⑤患者からの質問に適切に応え、その様々な反応に柔軟に対応できる。 A-7 対人関係能力 A-7-1) コミュニケーション *②信頼関係を確立するためのコミュニケーションの条件を説明できる。 *③コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。</p>	青木 伸一郎
2018/01/29 (月) 2時限 10:40~12:10	会話行動を分析する	<p>【授業の一般目標】 全人的な歯科医療を実践するために会話行動分析を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 医療における特異的な人間関係について説明できる。 2. 言語とメタメッセージについて説明できる。 3. 非言語コミュニケーションと心理について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：メタメッセージ、コミュニケーションと心理 準備学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無し、スライド、講義内容プリントなどの配布資料</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 8 医療面接 ア 意義, 目的 b 患者歯科医師関係の確立</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 8 医療面接 イ 面接のマナー c 会話のマナー、言葉遣い d コミュニケーションの進め方 (質問法、傾聴の仕方、非言語的コミュニケーション) e プライバシーの保護 f 感情面への対応</p> <p>【コアカリキュラム】 F 臨床実習 F-1 医療面接 ①適切な身だしなみ、言葉づかい、礼儀正しい態度で患者に接することができる。 ②医療面接における基本的なコミュニケーションができる。 ④患者の身体的・精神的・社会的苦痛に配慮し、問題点を抽出、整理できる。 ⑤患者の不安、不満や表情、行動の変化に適切に対応できる。</p>	青木 伸一郎
2018/02/05 (月) 2時限 10:40~12:10	平常試験 2 振替日: 2月2日 (金) 13:00~13:50	<p>【授業の一般目標】</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>【学修方略 (LS)】 その他</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p>	伊藤 孝訓 青木 伸一郎